

科目ページガイド（3～6年生用）

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	〈科目名（日本語）〉	〈授業形態〉	〈開講学年〉	〈開講学期〉	〈修得単位数〉	〈選必区分〉	〈ナンバリング〉
英語	〈科目名（英語）〉						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
				月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
科目責任者	〈科目責任者 氏名 職位〉	〈教室名 部屋番号〉		〈質問や相談を受け付ける曜日、時間 特記事項〉									
担当教員	〈科目担当者 氏名 職位〉	〈教室名 部屋番号〉		〈質問や相談を受け付ける曜日、時間 特記事項〉									
一般目標 (GIO)	〈授業の学修の結果と期待される成果〉												
授業概要	〈授業で実施する内容の概略〉												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
	〈学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）との関連項目〉												
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
	科目を履修することで身に付けることができる能力 ※序列 ◎：当該科目を履修することで最もよく身に付けることができる能力 ○：当該科目を履修することで、よく身に付けることができる能力 △：当該科目を履修することで、身に付けることができる能力												

到達目標（SBOs）

番号	SBO 項目	区分	コアカリ番号等	
1.	〈「どのようなことが出来るようになるのが望ましいか」という具体例と		〈薬学教育モデル・コアカリキュラムの対応番号〉	
2.	〈薬学教育モデル・コアカリキュラムの対応箇所〉			
3.	※到達目標がすべて達成できたときに一般目標が達成されたことになる。			
事前・事後学修とその時間	予習	〈予習の内容〉		〈予習時間の目安〉
	復習	〈復習の内容〉		〈復習時間の目安〉
教科書	〈教科書〉			
参考書	〈参考書〉			
授業方法	〈授業方法〉			
評価方法・基準	〈成績の評価方法、基準〉			
フィードバック方法	〈フィードバックの方法〉			
関連科目	〈本学部で関連する科目〉			
備考				

授業計画

回	項目	アクティブラーニング	授業内容	対象 SBOs
1.				

記号	アクティブ・ラーニング要素	記号	アクティブ・ラーニング要素
AL1	ディスカッション・ディベート	AL7	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学修
AL2	グループワーク	AL8	e-learning
AL3	スモールグループディスカッション(SGD)	AL9	体験学習
AL4	プレゼンテーション	AL10	実習・フィールドワーク
AL5	ロールプレイ	AL11	反転授業
AL6	問題解決型学修(PBL)	AL12	その他

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	社会への招待Ⅱ a (病院薬剤師)	講義	5年	春学期	0.5単位	選択必修	PP911-502J
英語	Introduction to Pharmaceutical Industry II a						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
				月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
科目責任者	増田 雅行	教授	臨床薬剤学研究室 C608	○ 10:00~18:00	○ 10:00~18:00	○ 10:00~18:00	○ 10:00~18:00	○ 10:00~18:00					
				原則として毎日。不在にすることもありますので、研究室を訪れるときは、事前にメールでの連絡を推奨します。また、メールでの質問も受け付けます。									
一般目標 (G10)	将来のキャリアデザイン(生き方・働き方)を創り、生涯にわたって学ぶことの必要性・重要性を理解するために、社会における薬剤師の役割やそれを果たすための自己研鑽に関する基本的事項を修得する。												
授業概要	薬剤師は、病院・薬局、教育・研究機関、製薬企業、行政など様々な業種において社会貢献している。また、新薬の開発を含め医療は日々進歩し不断の知識の修得が求められている。この授業では、キャリアカウンセラーが就職活動における知識や技能について、また専門的知識・スキルを身につけた病院薬剤師が働くことの意義を説き、将来のキャリアデザインの支援を行う。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
	○	○	○	○	○	○		○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
	△			○	○	◎					△	△	

#### 到達目標 (SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。	知識・態度	A-(1)-①-6
2.	薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。	知識	A-(1)-②-2
3.	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	知識	A-(3)-①-1
4.	薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。	知識・態度	A-(5)-②-2
5.	生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。	知識	A-(5)-③-1
6.	生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。	技能	A-(5)-③-2
7.	基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。	知識	G-(1)-①-1
8.	新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。	態度	G-(1)-①-4
9.	マナーを守り、電子メールの送信、受信、転送などができる。	技能・態度	準備-(8)-①-6
10.	目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。	技能	準備-(9)-①-2
11.	定められた書式、正しい文法に則って文書を作成できる。	知識・技能	準備-(9)-②-1
12.	人生における「仕事」「生きがい」を考え、自らキャリアデザインを創ることの重要性について理解できる。	知識	オリジナル
13.	各職種における「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき役割について理解できる。	知識	オリジナル

14.	チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。	知識	A-(4)-3
15.	以下の薬剤耐性菌による院内感染について、感染経路と予防方法、病態（病態生理、症状等）および薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 MRSA、VRE、セラチア、緑膿菌等	知識	E2-(7)-③-9
16.	抗悪性腫瘍薬の主な副作用（下痢、悪心・嘔吐、白血球減少、皮膚障害（手足症候群を含む）、血小板減少等）の軽減のための対処法を説明できる。	知識	E2-(7)-⑧-3
17.	精神科薬物療法に関する高度な知識と技術により、精神疾患患者の治療と社会復帰に貢献していることについて説明できる。	知識	オリジナル
18.	医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標や治療方針について討議し、共有していることを理解できる。	知識	オリジナル
19.	がん化学療法において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を説明できる。	知識	オリジナル
20.	感染制御領域（H I Vを含む）において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を説明できる。	知識	オリジナル
21.	精神科領域において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を説明できる。	知識	オリジナル
事前・事後 学修とその 時間	予習	講義スケジュールを確認し、事前に Web 掲示板に掲載された講義資料の該当部分に目を通すこと。	50 分
	復習	講義資料および参考書などで不足の内容について補い、関連する練習問題を解きながら、理解を深めること。	50 分
教科書	特に指定しない。		
参考書	東邦大学就活ガイドブック、薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック（薬事日報社）西鶴智香著		
授業方法	講義および演習		
評価方法・基準	到達目標（SBOs）を基準とし、授業態度（50%）とプロダクト・レポート（50%）を総合して評価を行う。		
フィードバック方法	①演習でのプロダクトは全員にフィードバックを行う。②レポートは、評価基準に達しなかった学生には、担当教員がアドバイスを行う。		
関連科目	社会への招待 I、コミュニケーション、プレゼンテーション、薬局実習、病院実習、卒業研究		
備考			

## 授業計画

回	項目	アクティブラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	キャリアプランニング(1)		自己PRの演習	1,2,3,4,5,6,7,8,12,13
2	キャリアプランニング(2)		履歴書・エントリーシートの書き方	1,2,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13
3	キャリアプランニング(3)		社会人・医療人としてのマナーのあり方	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,12,13
4	キャリアプランニング(4)		面接時の意思・情報の伝え方	1,2,3,4,5,6,7,8,10,12,13
5	キャリアデザイン1（がん専門薬剤師）	AL1	がん専門薬剤師の役割と高度な知識・臨床経験などを学ぶ	1,2,5,6,12,13,14,16,18,19
6	キャリアデザイン2（感染制御専門薬剤師）	AL1	感染制御専門薬剤師の役割と高度な知識・臨床経験などを学ぶ	1,2,5,6,12,13,14,15,18,20

7	キャリアデザイン3 (精神科専門薬剤師)	AL1	精神科専門薬剤師の役割と高度な知識・臨床経験などを学ぶ	1,2,5,6,12,13,14,17,18,21
---	----------------------	-----	-----------------------------	---------------------------

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	社会への招待Ⅱb(薬局・行政薬剤師)	講義	5年	春学期	0.5単位	選択必修	PP911-503J
英語	Introduction to Pharmaceutical Industry II b						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
科目責任者	山本 千夏 教授	衛生化学教室 D304	原則として毎日。										
			月曜	火曜	水曜	木曜	金曜						
一般目標 (G10)	将来のキャリアデザイン(生き方・働き方)を創り、生涯にわたって学ぶことの必要性・重要性を理解するために、社会における薬剤師の役割やそれを果たすための自己研鑽に関する基本的事項を修得する。												
授業概要	薬剤師は、病院・薬局、教育・研究機関、製薬企業、行政など様々な業種において社会貢献している。また、新薬の開発を含め医療は日々進歩し不断の知識の修得が求められている。この授業では、キャリアカウンセラーが就職活動における知識や技能について、また薬局薬剤師や行政に携わる薬剤師が働くことの意義を説き、将来のキャリアデザインの支援を行う。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
	○	○	○	○	○	○		○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
			○	△	△						◎	○	

#### 到達目標 (SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。	知識・態度	A-(1)-①-6
2.	薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。	知識	A-(1)-②-2
3.	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	知識	A-(3)-①-1
4.	薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。	知識・態度	A-(5)-②-2
5.	生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。	知識	A-(5)-③-1
6.	生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。	技能	A-(5)-③-2
7.	基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。	知識	G-(1)-①-1
8.	新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。	態度	G-(1)-①-4
9.	マナーを守り、電子メールの送信、受信、転送などができる。	技能・態度	準備-(8)-①-6
10.	目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。	技能	準備-(9)-①-2
11.	定められた書式、正しい文法に則って文書を作成できる。	知識・技能	準備-(9)-②-1
12.	人生における「仕事」「生きがい」を考え、自らキャリアデザインを創ることの重要性について理解できる。	知識	オリジナル
13.	各職種における「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき役割について理解できる。	知識	オリジナル

14.	健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。	知識	A-(1)-②-6
15.	かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。	知識	B-(4)-①-3
16.	在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。	知識	B-(4)-②-2
17.	地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。	知識	B-(4)-②-4
18.	主な養生法（運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む）とその健康の保持・促進における意義を説明できる。	知識	E2-(9)-①-6
事前・事後学修とその時間	予習	講義スケジュールを確認し、事前に Moodle に掲載された講義資料の該当部分に目を通すこと。	
	復習	講義資料および参考書などで不足の内容について補い、関連する練習問題を解きながら、理解を深めること。	
教科書	特に指定しない。		
参考書	東邦大学就活ガイドブック、薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック（薬事日報社）西鶴智香著		
授業方法	講義および演習		
評価方法・基準	到達目標（SBOs）を基準とし、授業態度（50%）とプロダクト・レポート（50%）を総合して評価を行う。		
フィードバック方法	①演習でのプロダクトは全員にフィードバックを行う。②レポートは、評価基準に達しなかった学生には、担当教員がアドバイスを行う。		
関連科目	社会への招待 I、コミュニケーション、プレゼンテーション、薬局実習、病院実習、卒業研究		
備考			

## 授業計画

回	項目	アクティブラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	キャリアプランニング(1)		自己PRの演習	1,2,3,4,5,6,7,8,12,13
2	キャリアプランニング(2)		履歴書・エントリーシートの書き方	1,2,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13
3	キャリアプランニング(3)		社会人・医療人としてのマナーのあり方	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,12,13
4	キャリアプランニング(4)		面接時の意思・情報の伝え方	1,2,3,4,5,6,7,8,10,12,13
5	キャリアデザイン（薬局薬剤師1）	AL1	在宅医療と薬剤師	1,2,5,6,12,13,16,17
6	キャリアデザイン（薬局薬剤師2）	AL1	健康サポート機能と薬剤師	1,2,5,6,12,13,14,15,17,18
7	キャリアデザイン（行政薬剤師）	AL1	地域医療行政と薬剤師	1,2,5,6,12,13,17

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	社会への招待Ⅱc(製薬(研究職除く)・治験)	講義	5年	春学期	0.5単位	選択必修	PP911-504J
英語	Introduction to Pharmaceutical Industry II c						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
科目責任者	野口 修治	教授	薬剤学教室 C712	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
				○8:30~18:00	○13:00~18:00	○8:30~15:00	○8:30~9:00	○8:30~18:00					
原則として毎日学内にいるので、予告なしにいつ訪れてもよい。メールで事前に予約すると確実である。メールによる質問も受け付ける。													
一般目標 (GIO)	将来のキャリアデザイン(生き方・働き方)を創り、生涯にわたって学ぶことの必要性・重要性を理解するために、社会における薬剤師の役割やそれを果たすための自己研鑽に関する基本的事項を修得する。												
授業概要	薬剤師は、病院・薬局、教育・研究機関、製薬企業、行政など様々な業種において社会貢献している。また、新薬の開発を含め医療は日々進歩し不断の知識の修得が求められている。この授業では、まずキャリアカウンセラーが就職活動における知識や技能について説く。次に、治験や医薬情報担当など製薬関係の企業での業務に携わる薬剤師が、薬剤師としての職能を生かして働くことの実例を通して、薬学を修得することで可能となる多様なキャリアについて紹介し、各自のキャリアデザインの支援を行う。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
	○	○	○	○	○	○		○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
										○	◎	○	○

#### 到達目標(SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。	知識・態度	A-(1)-①-6
2.	薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。	知識	A-(1)-②-2
3.	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	知識	A-(3)-①-1
4.	薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。	知識・態度	A-(5)-②-2
5.	生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。	知識	A-(5)-③-1
6.	生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。	技能	A-(5)-③-2
7.	基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。	知識	G-(1)-①-1
8.	新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。	態度	G-(1)-①-4
9.	マナーを守り、電子メールの送信、受信、転送などができる。	技能・態度	準備-(8)-①-6
10.	目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。	技能	準備-(9)-①-2
11.	定められた書式、正しい文法に則って文書を作成できる。	知識・技能	準備-(9)-②-1
12.	人生における「仕事」「生きがい」を考え、自らキャリアデザインを創ることの重要性について理解できる。	知識	オリジナル
13.	各職種における「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき役割について理解できる。	知識	オリジナル

14.	医薬品の創製（研究開発、生産等）における薬剤師の役割について説明できる。		知識	A-(1)-②-5
事前・事後 学修と その 時 間	予習	講義スケジュールを確認し、事前に Web 掲示板に掲載された講義資料の該当部分に目を通すこと。	60 分	
	復習	講義資料および参考書などで不足の内容について補い、関連する練習問題を解きながら、理解を深めること。	60 分	
教科書	特に指定しない。			
参考書	東邦大学就活ガイドブック、薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック（薬事日報社）西鶴智香著			
授業方法	講義および演習			
評価方法・ 基準	到達目標（SBOs）を基準とし、授業態度（50%）とプロダクト・レポート（50%）を総合して評価を行う。			
フィード バック方法	①演習でのプロダクトは全員にフィードバックを行う。②レポートは、評価基準に達しなかった学生には、担当教員がアドバイスを行う。			
関連科目	社会への招待 I、コミュニケーション、プレゼンテーション、薬局実習、病院実習、卒業研究			
備考				

### 授業計画

回	項目	アクティブ ラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	キャリアプランニング(1)		自己PRの演習	1,2,3,4,5,6, 7,8,12,13
2	キャリアプランニング(2)		履歴書・エントリーシートの書き方	1,2,3,4,5,6, 7,8,10,11, 12,13
3	キャリアプランニング(3)		社会人・医療人としてのマナーのあり方	1,2,3,4,5,6, 7,8,9,10,12, 13
4	キャリアプランニング(4)		面接時の意思・情報の伝え方	1,2,3,4,5,6, 7,8,10,12,13
5	キャリアデザイン（医薬情報担当者）	AL1	医薬情報と薬剤師	2,4,5,6,12, 13,14
6	キャリアデザイン（治験）	AL1	治験業務と薬剤師	2,4,5,6,12, 13,14
7	キャリアデザイン（製薬企業）	AL1	製薬企業における薬剤師	2,4,5,6,12, 13,14

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	社会への招待Ⅱd(研究者)	講義	5年	春学期	0.5単位	選択必修	PP911-505J
英語	Introduction to Pharmaceutical IndustryⅡd						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
				月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
科目責任者	東屋 功 教授	薬品製造学教室 D504		○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00	×	○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00					
一般目標 (GIO)	将来のキャリアデザイン(生き方・働き方)を創り、生涯にわたって学ぶことの必要性・重要性を理解するために、社会における薬学部出身者の役割やそれを果たすための自己研鑽に関する基本的事項を修得する。												
授業概要	キャリアカウンセラーが就職活動における知識や技能について解説する。また大学や研究機関で行われている第一線の研究内容を理解することで、研究者に関する将来のキャリアデザインの支援を行う。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
					○	○		○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
	◎	○			○	○							

#### 到達目標(SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。	知識・態度	A-(1)-①-6
2.	薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。	知識	A-(1)-②-2
3.	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	知識	A-(3)-①-1
4.	薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。	知識・態度	A-(5)-②-2
5.	生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。	知識	A-(5)-③-1
6.	生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。	技能	A-(5)-③-2
7.	基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。	知識	G-(1)-①-1
8.	新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。	態度	G-(1)-①-4
9.	マナーを守り、電子メールの送信、受信、転送などができる。	技能・態度	準備-(8)-①-6
10.	目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。	技能	準備-(9)-①-2
11.	定められた書式、正しい文法に則って文書を作成できる。	知識・技能	準備-(9)-②-1
12.	人生における「仕事」「生きがい」を考え、自らキャリアデザインを創ることの重要性について理解できる。	知識	オリジナル
13.	各職種における「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき役割について理解できる。	知識	オリジナル
14.	研究には自立性と独創性が求められていることを知る。	知識	G-(1)-①-2

15.	現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。		知識・技能・態度	G-(1)-①-3
事前・事後学修とその時間	予習	Web 掲示板に掲載された資料に目を通してこくこと。		50 分
	復習	講義資料に目を通し理解を深めること。		50 分
教科書	講義資料			
参考書	東邦大学就活ガイドブック、薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック（薬事日報社）西鶴智香著			
授業方法	講義および演習			
評価方法・基準	到達目標（SBOs）を基準とし、授業態度（50%）とプロダクト・レポート（50%）を総合して評価を行う。			
フィードバック方法	①演習でのプロダクトは全員にフィードバックを行う。②レポートにおいて評価基準に達しなかった学生には、担当教員がアドバイスを行う。			
関連科目	社会への招待 I、卒業研究			
備考				

### 授業計画

回	項目	アクティブ ラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	キャリアプランニング(1)		自己 PR の演習	1,2,3,4,5,6, 7,8,12,13
2	キャリアプランニング(2)		履歴書・エントリーシートの書き方	1,2,3,4,5,6, 7,8,10,11, 12,13
3	キャリアプランニング(3)		社会人・医療人としてのマナーのあり方	1,2,3,4,5,6, 7,8,9,10,12, 13
4	キャリアプランニング(4)		面接時の意思・情報の伝え方	1,2,3,4,5,6, 7,8,10,12,13
5	研究がどのように行われているか(1)	AL1	大学での研究活動：化学系	8,14,15
6	研究がどのように行われているか(2)	AL1	大学での研究活動：生物系	8,14,15
7	研究がどのように行われているか(3)	AL1 AL12	大学での研究活動：物理系	8,14,15

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	医薬品開発Ⅱ	講義	5年	春学期	1単位	選択	PP516-503J
英語	Development of Medicine II						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
科目責任者	今井 利安 非常勤講師	非常勤講師室 C201	月曜										
			火曜	水曜	木曜	金曜							
			×	×	×	×	×						
			講義終了後。 直接、または教務を通じて随時メールなどで質問可能。										
一般目標 (GIO)	新薬の開発は新たな治療法や治癒率の向上等に欠かせない活動である。開発には多くの知識、専門性、時間、費用などが必要となる。また、新しい形態の医薬品も開発されており、薬剤師には実社会においてさらに広い知識が必要とされるようになってきた。本講義では医薬品開発を基に今まで学んだ知識を再確認するとともに、新しい医薬品や技術、ジェネリック医薬品、最近の製薬企業を取り巻く環境についても触れる。												
授業概要	新薬、ジェネリック医薬品を含めて製薬企業並びに医薬品開発に関する総合的な情報を提供し、薬剤師としての知識の拡充を図ることを目的とします。創薬においては、その歴史、探索から開発・製造・流通の各プロセスに関する基本的な知識を再確認します。ジェネリック医薬品の開発についても触れ、医薬品市場の概略や製薬業界の不祥事などを通じて、医薬品の供給が担う社会的重要性に目を向けるきっかけを作ります。また、近年急速に発展してきたAI、オミクス技術を用いた新しい医療の潮流に対応するために、創薬の最新情報・技術を紹介します。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
		○	○		○	○	○	○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
	○	◎		△	○			△			○		

#### 到達目標 (SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	医薬品の開発から承認までのプロセスと法規規について概説できる。	知識	B-(2)-②-2
2.	治験の意義と仕組みについて概説できる。	知識	B-(2)-②-3
3.	医薬品等の製造販売及び製造に係る法規規について説明できる。	知識	B-(2)-②-4
4.	レギュラトリーサイエンスの必要性和意義について説明できる。	知識	B-(2)-②-11
5.	医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて概説できる。	知識	B-(3)-②-1
6.	後発医薬品とその役割について説明できる。	知識	B-(3)-②-3
7.	医薬品等に係る知的財産権保護の仕組み(申請、承認など)について説明できる。	知識	アド-B-③-1
8.	医薬品等の開発と規制における国際調和の動向について説明できる。	知識	アド-B-①-2
9.	古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。	知識	アド-C4-③-1
10.	スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。	知識	アド-C4-④-1
11.	代表的スクリーニング法を列挙し、説明できる。	知識	アド-C4-④-2
12.	ドラッグデザインにおけるコンピューターの利用法を説明できる。	知識	アド-C4-⑤-4

13.	バイオインフォマティクスについて説明できる。	知識	アド-C6-⑤-2
14.	ゲノム情報の創薬への利用について、創薬ターゲットの探索の代表例（イマチニブなど）を挙げ、ゲノム創薬の流れについて説明できる。	知識・態度	アド-C6-⑧-12
15.	組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。	知識	E2-(8)-①-1
16.	医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。	知識	E3-(1)-①-3
事前・事後 学修とその 時間	予習	多くの科目で学習したことを医薬品の開発という視点で再確認する。	
	復習	医薬品開発に関するこれまでの講義を再確認する。	
教科書	特に購入の必要はありません。有機化学、薬剤学、薬物動態学、生化学、微生物学、薬理学など、今まで履修した教科書などで予習・復習時に確認してください。		
参考書	購入の必要はありません。本講義を受講したうえで創薬に興味が出た方への参考として以下の参考書を紹介します。 新薬という奇跡 成功率0.1%の探求（原著：The drug hunters） THE 創薬-少資源国家にっぽんの生きる道-		
授業方法	講義		
評価方法・基準	定期レポートにて理解度を評価する（100%）。なお、再試験（レポート）は実施しない。		
フィードバック方法	講義に関する質問は全員にフィードバックします。定期レポートの講評（採点のポイント等）を公開します。		
関連科目	有機化学、薬剤学、薬物動態学、生化学、薬理学など		
備考	直接または教務を通じ随時メールなどで質問可能です。		

## 授業計画

回	項目	アクティブラーニング	授業内容	対象 SB0s
1	イントロダクション		医薬品開発に関わる周辺環境として「日本・世界の医薬品市場」、「医薬品関連の最近の話題」、「医薬品の社会的役割」について触れ、医薬品の全体像を理解することを目的とする	1,5
2	医薬品開発概要		医薬品開発の企画から上市までの流れを再確認する。また、医薬品開発に関わる様々な職種について説明する。さらに医薬品開発の形態変化が進んでいることについても説明する	1,4
3	規範、特許		製薬企業の不祥事を通して医薬品の開発に必須である規範類を整理する。また医薬品開発に重要である特許と特許切れの影響について学習する	3,7,8
4	医薬品創薬の歴史		紀元前から現在までの創薬の歴史とその側面を学ぶ	1,9
5	創薬ターゲット探索		創薬ターゲット探索についての基礎理論を学ぶ	10
6	探索研究から医薬品候補化合物の創出までのプロセス（探索研究・薬効薬理）		医薬品開発における最初の段階である創薬ターゲットの探索、スクリーニングから開発候補物質の絞り込み戦略を薬理学・生化学の手法を中心に学ぶ	1,11
7	スクリーニング医薬品候補化合物の創出までのプロセス（薬物動態学・製剤学）		医薬品開発におけるスクリーニングから開発候補物質の絞り込みに至るまでを薬物動態学・製剤・分析の観点から学ぶ	1,11
8	スクリーニングから医薬品候補化合物の創出までのプロセス（毒性・安全性薬理）		医薬品開発におけるスクリーニングから開発候補物質の絞り込み、治験に至るまでを毒性・安全性の観点から学ぶ	1,11,16

9	臨床試験		医薬品開発における臨床試験の概略を確認する。また、近年発生した臨床試験の事故を通じて医薬品開発に必要な倫理観を学ぶ	2,16
10	ジェネリック医薬品		近年利用が増加していると同時に不祥事が絶えないジェネリック医薬品業界の概略とその開発について学ぶ	6,16
11	新モダリティ創薬 1		かつては低分子医薬が中心であったが標的分子の枯渇や研究開発の高難易度化などから、低分子の新薬創出のハードルが益々高まっている。近年開発されている新しいモダリティの創薬（再生医療、遺伝子治療、抗体医薬）について紹介する	14,15
12	新モダリティ創薬 2		近年開発されている新しいモダリティの創薬（核酸医薬、ペプチド、コンパニオン診断薬、タンパク質分解創薬）について紹介する	14,15
13	バイオインフォマティクス、創薬に用いる新技術		バイオインフォマティクスを用いた創薬の現状について学ぶ。また、創薬研究に用いられている新技術について紹介する	12,13
14	AI 創薬		近年創薬開発のスピードを上げ、コストを削減する方法として、AI技術がもつデータ処理能力の可能性が注目されていることから、創薬に関わる AI 技術の現状について紹介する	12,13,14,15
	定期試験		レポート	

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	人体解剖学	講義	5年	春学期	0.5単位	選択	PP516-502J
英語	Human Anatomy						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
科目責任者	川島 友和 兼担講師	医学部 解剖学講座2号館6階2S608		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
				×	×	×	×	×					
				原則として講義終了後。また下記メールアドレスにて質問を受け付ける。 tomokazu.kawashima@med.toho-u.ac.jp									
一般目標(GIO)	人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的事項を修得する。												
授業概要	人体を構成する器官や臓器の機能システムによる分類(系統)に基づいて、人体構造を理解することを目的として、講義を構成している。まず解剖学で用いる基本的な用語を説明したのち、各器官系の名称、構成、形態学的特徴、体内での位置に関する講義を行う。その後、実際に解剖されたご遺体と臓器標本を見学することで、各種臓器の名称、位置、構造の特徴を確認し、人体構造に関する知識を深める。見学には、将来医療に携わる人間として、高い倫理観に基づいた真摯な態度で臨み、人間の死と生命の尊厳について深く考えながら参加することが必要とされる。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
	○				○	○		○					
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
		◎							△	○		△	

#### 到達目標(SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能を説明できる。	知識	C7-(1)-③-1
2.	中枢神経系について概説できる。	知識	C7-(1)-④-1
3.	末梢(体性・自律)神経系について概説できる。	知識	C7-(1)-④-2
4.	感覚器系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑬-1
5.	骨、筋肉について概説できる。	知識	C7-(1)-⑤-1
6.	代表的な骨格筋および関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	知識	C7-(1)-⑤-2
7.	心臓について概説できる。	知識	C7-(1)-⑦-1
8.	血管系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑦-2
9.	リンパ管系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑦-3
10.	肺、気管支について概説できる。	知識	C7-(1)-⑧-1
11.	胃、小腸、大腸などの消化管について概説できる。	知識	C7-(1)-⑨-1
12.	肝臓、膵臓、胆嚢について概説できる。	知識	C7-(1)-⑨-2

13.	泌尿器系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑩-1
14.	生殖器系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑪-1
15.	内分泌系について概説できる。	知識	C7-(1)-⑫-1
16.	実験動物・人体模型・シミュレーターなどを用いて各種臓器の名称と位置を確認できる。	技能	C7-(1)-③-3
17.	生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。	知識・ 態度	A-(1)-①-5
18.	一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。	知識・ 態度	A-(1)-①-6
19.	人体構造の知識が得られた背景を知り、人体構造の知識と今後の学習とを関連づけることができる。	知識・ 態度	オリジナル
事前・事後 学修とその 時間	予習	講義の前に下記の授業計画を確認し、参考書やあらかじめ Active Academy で公開してある配布プリントの該当部分を一読する (1 時限の内容に関してそれぞれ予習：30 分)。	
	復習	配布プリントの復習をし、参考書で不足の内容について知識を補う (1 時限の内容に関してそれぞれ復習：40 分)。特に見学前には、必ず人体構造の概要についてしっかり復習しておくこと (1 時限の内容に関してそれぞれ総復習である 復習：70 分)。	
教科書	特に指定しない。		
参考書	1. 藤田恒夫著「入門人体解剖学」(南江堂) 2. 坂井建雄、岡田隆夫著「系統看護学講座 専門基礎分野 人体の正常構造と機能[1] 解剖生理学」(医学書院)		
授業方法	講義後、解剖見学演習を行う。		
評価方法・ 基準	到達目標 (SBOs) に記載された知識の到達度を確認する定期試験、解剖見学演習の受講態度で評価する。知識 70%、態度 30% の割合である。見学演習欠席の場合は不合格である。		
フィード バック方法	試験結果開示後、2 日間に限り、メールにて質問を受け付ける。		
関連科目	人体生理学 I ~ III		
備考	初めの 3 時限で、人体構造についての基礎的な知識を講義する。続いての 3 時限を用いて、実際のご遺体を見学し、学んだ知識を確認する。最後の 1 時限は、総まとめの講義を行う。 ※ 4 時限目以降は、大森キャンパスにて行う。		

## 授業計画

回	項目	アクティブ ラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	解剖学総論・運動器系・神経系		人体の基本的構成、情報の受容と処理を担う構造	1~6
2	内臓学 1		消化器系・循環器系	7~12
3	内臓学 2		呼吸器系・泌尿生殖器系・内分泌系	13~15
4	解剖見学演習	AL10	人体解剖見学演習	1~18
5	解剖見学演習	AL10	人体解剖見学演習	1~18
6	解剖見学演習	AL10	人体解剖見学演習	1~18
7	総まとめ		解剖学の背景と今後の発展	19
	定期試験			

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	臨床栄養学	講義	5年	春学期	0.5単位	選択	PP516-501J
英語	Clinical Dietetics						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
				月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
科目責任者	田中 ゆか 非常勤講師	非常勤講師室 C201		×	×	×	×	×					
				講義終了後									
一般目標 (G10)	生活習慣病をはじめとする疾患の予防や治療を計画する上で重要とされる栄養管理に関する基礎知識を習得する。												
授業概要	栄養の摂取は健康を維持するために必須であるが、傷病に陥った状態であっても回復や生命維持に重要な要素である。この授業では疾病治療における栄養管理の重要性と生活習慣病をはじめとする疾患の治療を計画する上での栄養管理に関する基礎知識について解説する。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
			○										
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
						◎							

#### 到達目標 (SBOs)

番号	SBO項目	区分	コアカリ番号等
1.	疾病治療における栄養の重要性を説明できる。	知識	D1-(3)-①-8
2.	臨床栄養学の意義と食事療法の重要性について説明できる。	知識	オリジナル
3.	栄養障害および欠乏症・過剰症等における疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
4.	メタボリックシンドロームおよび代謝・内分泌系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
5.	循環器系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
6.	消化器系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
7.	腎・尿路系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
8.	感染症、免疫・アレルギー、脳・神経障害およびがんの概要と食事療法を中心とした治療法について説明できる。	知識	オリジナル
事前・事後学修とその時間	予習	講義前に予め指定教科書について授業計画で該当箇所を確認し、事前に読んでくること。	
	復習	講義後に web 掲示板に掲載された資料を確認し、知識を整理すること。	
教科書	栄養科学シリーズ NEXT 新・臨床栄養学 第2版 竹谷豊 他3名編 (講談社サイエンティフィック)		
参考書	臨床病態栄養学 武田英二著 (第2版 文光堂)、臨床栄養学 中村丁次他編 (改訂第2版 南江堂)、病態栄養学ガイドブック 日本病態栄養学会編集 (改訂第7版 南江堂)		
授業方法	講義		
評価方法・基準	レポートにより評価する(100%)。なお、再試験(レポート)は実施しない。		
フィードバック方法	講義中に使用した資料を講義後開示する。		
関連科目	健康、疾病と薬物治療、生化学、病態生化学		

備 考	
-----	--

## 授業計画

回	項 目	アクティブ ラーニング	授 業 内 容	対象 SB0s
1	臨床における栄養管理の必要性		臨床栄養学の意義と薬剤と栄養の相互作用について。	1,2
2	栄養・代謝・内分泌系疾患Ⅰ		栄養障害および欠乏症・過剰症等における疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,3
3	栄養・代謝・内分泌系疾患Ⅱ		メタボリックシンドロームおよび代謝・内分泌系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,4
4	循環器系疾患		循環器系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,5
5	消化器系疾患		消化器系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,6
6	腎・尿路系疾患		腎・尿路系疾患の概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,7
7	その他の疾患		感染症、免疫・アレルギー、脳・神経障害およびがんの概要と食事療法を中心とした治療法について。	1,8
	定期試験		レポート	

科目名		授業形態	学年	開講学期	単位数	必選区分	ナンバリング
日本語	海外実務実習	実習	5年	通年	2単位	選択	PP516-504J
英語	Pharmacy Practicum Abroad						

教員名 連絡先(教室)				オフィスアワー									
				月曜	火曜	水曜	木曜	金曜					
科目責任者	高橋 瑞穂	講師	社会薬学研究室 C509	○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00	○ 10:00~17:00					
				研究室を訪れる際は、電子メールで appointment をとることを推奨します。 mizuho_t @ phar. toho-u. ac. jp ※電子メールアドレスの@は全角にしています。									
一般目標 (GIO)	将来、国際化の流れに対応できる薬剤師や創薬専門家となるために、国内・国外の医療の現状や薬剤師の職能について比較を通して学び、国際的視野に基づいた基本的知識と技能を修得する。												
授業概要	国内外の医療や薬剤師の職能について比較を通して学び、国際的な視野を持てるようになるため、①自国の医療・薬剤師の業務について知識を整理し海外での実習目標を自ら設定する事前プログラム、②学術交流協定施設の薬学部・関連医療施設における現地実習(講義・実習への参加、見学・シャドウィングなど)、③自身で設定した目標の到達度評価・現地での学びを振り返り成果を共有する事後プログラムで構成している。												
ディプロマ・ポリシーとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8					
		○		○									
アセスメントプランとの関連	AsP1	AsP2	AsP3	AsP4	AsP5	AsP6	AsP7	AsP8	AsP9	AsP10	AsP11	AsP12	AsP13
				△	△	○		◎	△	○		△	○

#### 到達目標 (SB0s)

番号	SB0 項目	区分	コアカリ番号等
1.	諸外国の医療、福祉、介護の制度について、日本と比較しながら説明できる。	知識	アド-B-②-1
2.	諸外国における薬局の機能と業務について、日本と比較しながら説明できる。	知識	アド-B-④-1
3.	諸外国における薬剤師の活動分野について、日本と比較しながら説明できる。	知識	アド-B-⑤-2
4.	医療現場での基本的な日常会話を英語で行うことができる。	知識・技能	オリジナル
5.	薬の服用方法と注意事項に関する基礎的情報を英語で伝達できる。	知識・技能	オリジナル
6.	英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明できる。	知識・技能	オリジナル
7.	医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。	態度	F-(1)-②-1
8.	職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。	態度	F-(1)-②-7
9.	調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。	知識	F-(2)-①-1
10.	医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	知識	F-(2)-⑤-1
11.	医薬品管理の流れを概説できる。	知識	F-(2)-⑤-2
12.	病院薬剤部門を構成する各セクションの業務を列挙し、その内容と関連を概説できる。	知識	F-(1)-③-3
13.	施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。	知識・技能	F-(3)-②-2

14.	多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。	知識	F-(4)-①-2
15.	チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。	知識	F-(4)-①-1
16.	病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法（連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等）を説明できる。	知識	F-(4)-①-3
17.	入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。	態度	F-(1)-③-8
18.	かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合うことができる。	態度	オリジナル
19.	在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。	態度	F-(5)-①-3
20.	地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動（薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等）について説明できる。	知識	F-(5)-②-1
事前・事後 学修とその 時間	予習	事前プログラム時：本邦における病院・薬局の実務実習で学んだことを踏まえて、海外実務実習における各自の目標（課題）・グループの目標（課題）を設定し、課題遂行のために必要となる語彙力・質問力の向上を図る。	360分
	復習	事後プログラム時：報告会準備のため、現地実習の内容を振り返り、報告書内容に対する科目担当教員からのコメントやアドバイスを受けて、報告会におけるプレゼンテーションの準備をする。	360分
教科書	特に指定しない。		
参考書	特に指定しない。		
授業方法	東邦大学が国際交流協定を結んでいる大学およびその他の協力機関が提携している病院・薬局における実務実習を主体としたプログラム。現地実習前に各自で到達目標を設定する事前プログラム、帰国後に成果発表・討論を行う事後プログラムが含まれる。		
評価方法・ 基準	実習報告書などの提出物（25%）、SBOsならびに各自が設定した目標への到達度（25%）、事前／事後プログラムにおける参加態度およびプレゼンテーション（50%）について、総合的に評価する。		
フィード バック方法	事前プログラムで作成する質問集並びに実習報告書・報告会準備の内容については、随時コメントやアドバイスを提供する。		
関連科目	プレ実務実習、病院・薬局実務実習、英語Ⅰ・Ⅱ、英会話、薬剤師のためのやさしい英会話、実用薬学英語		
備考	科目選択に必要なこと・卒研教室／研究室責任者の承諾を得ること・準備費用、交通費ならびに滞在費用など必要経費の負担ができること。 注意（1）：提携施設および協力者の都合や事情により、参加可能人数の調整が必要になる場合がある。 注意（2）：国際情勢や感染症拡大状況等により開講・渡航ができない場合がある。 ・実践的教育から構成する（学外における実習）授業科目である。		

## 授業計画

回	項目	アクティブ ラーニング	授業内容	対象 SBOs
1	事前プログラム	AL2 AL3 AL4	課題（個人・グループ）の設定	1～8
2	事前プログラム	AL2 AL3 AL4	課題（個人・グループ）の準備	1～8
3	事前プログラム	AL2 AL3 AL4 AL7	課題（個人・グループ）の準備	1～8
4	事前プログラム	AL2 AL3 AL4	海外渡航に伴う安全講習	1～8

5	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	調剤業務、医薬品管理・リスクマネジメント	1～11
6	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	調剤業務、医薬品管理・リスクマネジメント	1～11
7	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	病棟業務・薬物療法の実践	1～8,12
8	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	病棟業務・薬物療法の実践	1～8,12
9	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	医薬品情報	1～8,13
10	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	医薬品情報	1～8,13
11	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	チーム医療への参画	1～8, 14～16
12	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	チーム医療への参画	1～8, 14～16
13	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	地域の保健・医療・福祉への参画	1～8, 17～20

14	現地実習（病院・薬局・その他）	AL2 AL3 AL4 AL7 AL9 AL10	地域の保健・医療・福祉への参画	1～8, 17～20
15	事後プログラム	AL2 AL3 AL4	現地実習・課題内容の振り返りと報告会準備	1～8
16	事後プログラム	AL2 AL3 AL4	現地実習・課題内容の振り返りと報告会準備	1～8
17	事後プログラム	AL2 AL3 AL4	現地実習・課題内容の振り返りと報告会準備	1～8
18	事後プログラム	AL2 AL3 AL4	「海外実務実習報告会」におけるプレゼンテーション	1～8